

## 授業展開案 高等学校地理歴史「日本史 A」

### 1 テーマ

輸出入の変化から見る明治期の経済

### 2 I C T 利活用のねらい

明治期の経済について、I C T 機器を用い複数のグラフと政治・外交の動向を関連づけて表示することによって、近代産業の発達について構造的な理解を促すとともに、グラフの読み取りを通じて資料活用の技能を育む。


### 3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

①機器：電子黒板，学習者用端末

②教材：「輸出入の変化から見る明治期の経済」(Microsoft PowerPoint)

「主要貿易品目の変化」(Microsoft OneNote)

### 4 I C T 利活用の場面

学習内容	I C T 利活用の場面
<p>明治期の政治・外交と経済の動向を関連付け、位置付ける。</p> <p>殖産興業から松方財政期の企業勃興までの内容を復習する。</p> <p>軽工業の発展とその影響について、グラフを読み取り、その内容を発表する。</p>  <p>重工業(製鉄業)の形成について、明治期には鉄鋼の自給は達成できなかったことを確認する。</p> <p>明治期の近代産業の発展は軽工業を主体としていたことを確認する。</p>	<p>①説明の補助：「1870～1911 年の輸出入額の推移」のグラフを提示する。</p> <p>②説明の補助：「殖産興業期における官営事業」の図を表示する。</p> <p>③説明の補助：「1880～1900 年の輸出入額の推移」のグラフを表示する。</p> <p>④表現活動：「主要貿易品目の輸出額に占める割合の変化」を学習者用端末に配布する。また、発表させる際に「主要貿易品目の輸出額に占める割合の変化」のグラフを電子黒板に表示する。</p> <p>⑤説明の補助：「銑鉄・鉄鋼の自給率」のグラフを表示する。</p>

